天国の様子 － 天国の享楽

﴿صفة الجنة ووصف نعيمها﴾

[日本語– Japanese – ياباني]

ムハンマド・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジュリー

翻訳 ： サイード佐藤

校閲 ： ファーティマ佐藤

2007 - 1428

islamhouse.com

﴿ صفة الجنة ووصف نعيمها ﴾

« باللغة اليابانية »

محمد بن إبراهيم التويجري

ترجمة: سعيد ساتو

مراجعة: فاطمة ساتو

2007 - 1428

天国の様子

- **天国とは**：アッラーが来世において、信仰者の男女のためにご準備なされた安らぎの地です。

- 天国についての話は、それとその享楽及びその住人たちをお創りになられた崇高なるアッラーそのお方の啓典、そしてクルアーンと真正なハディースが示している通り、そこに入り足を踏み入れた方すなわち預言者ムハンマド（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の伝えた伝承に依拠することになります。

- **天国のよく知られた諸名称：**

天国はその本質は 1 つでありながら、その属性は数あまたです。そしてそのよく知られた名称には、以下のようなものがあります：

1－***アル＝ジャンナ***（天国、楽園）：至高のアッラーは仰られました：﴿**そしてアッラーとその使徒に従う者は、（アッラーが）彼をその下を河川の流れる楽園に入れよう。彼らはそこに永遠に留まるのだ。これこそはこの上ない勝利である。**﴾（クルアーン 4：13）

2－楽園***フィルダウス***：至高のアッラーは仰られました：﴿**信仰し善行に励む者たちこそには、*フィルダウス*の楽園がその住まいとして与えられよう。**﴾（クルアーン 18：107）

3－***アドゥン***（エデン）の楽園：至高のアッラーは仰られました：﴿**これこそは 1 つのよき誉れである。そして*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）にはよき帰り所がある。そのいくつもの扉が開け放たれた、アドゥンの楽園である。**﴾（クルアーン 38：49 - 50）

4－永遠の楽園：至高のアッラーは仰られました：﴿**言え、「一体それ（地獄の業火）か、あるいはその報いと終着先として*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）に約束された永遠の楽園の方がよいのか？」**﴾（クルアーン 25：15）

5－安楽の楽園：至高のアッラーは仰られました：﴿**信仰し善行に励む者たちにこそは、安楽の楽園がある。**﴾（クルアーン 31：8）

6－身を休める楽園：至高のアッラーは仰られました：﴿**一方信仰し善行に励む者たちには、彼らが行っていた事に対し、その住まいとして身を休め避難させる楽園がある。**﴾（クルアーン 32：19）

7－安らぎの地（***ダール・アッ＝サラーム***）：至高のアッラーは仰られました：﴿**彼らにこそはその主の御許に、安らぎの地がある。そしてかれ（アッラー）こそは、彼らが（現世で）行っていたところのものゆえに彼らの庇護者なのである。**﴾（クルアーン 6：127）

● **天国の場所：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**そして天にはあなた方の糧（の諸要因）と、あなた方が約束されているところのもの（天国あるいは地獄）がある。**﴾（クルアーン 51：22）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**そして彼（ムハンマドのこと）は再度彼（ジブリール）を見た。最果ての*スィドラ*の木の下で。そこには身を安らげる楽園がある。**﴾（クルアーン 53：13－15）

3－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「"アッラーとその使徒を信じ、サラー（礼拝）をし、ラマダーンのサウム（斎戒、いわゆる断食）をする者は、アッラーに天国へ入れて頂く報いがあろう。例え彼がアッラーの道において移住したとしても、あるいは生まれた土地に留まっていたとしても。"（教友たちは）言いました："アッラーの使徒よ、人々にそれを伝えるべきではないでしょうか？"（預言者は）言いました："天国には 100 の位階がある。アッラーはかれの道における*ムジャーヒドーン*（様々な形で力の限り奮闘する者たち）にそれをご準備されたのだ。各位階の間は天地の間ほどもある。ゆえにアッラーに乞うときは、*フィルダウス*を乞うのだ。それこそは最も中心にあり高位に属する天国なのである。そしてその上には最も慈悲深きお方の玉座があり、そこから天国の河川が湧き出るのだ。」（(アル＝ブハーリーの伝承[1])

4－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によればアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「信仰者に死が訪れると、彼の下には慈悲の天使がやってくる。そしてその魂が引き抜かれると、それは純白の絹に包まれてその天使とともに天の扉へと舞い上がる。そして彼らは言うのだ："このようなよい香りは嗅いだことがない・・・"」（アル＝ハーキムとイブン・ヒッバーンの伝承[2]）

---

[1] サヒーフ・アル＝ブハーリー（7423）。
[2] 真正な伝承。ムスタドゥラク・アル＝ハーキム（1304）、サヒーフ・イブン・ヒッバーン（3013）。アル＝アルナウートは伝承経路は正しいと言っています。

● **天国の各扉の名称：**

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によるとアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「アッラーの道において 2 種類の財産から施した者は、天国の諸門からこう呼びかけられる："アッラーのしもべよ、これはよいことだ。"またサラー（礼拝）の徒は、サラー（礼拝）の門から呼びかけられる。またジハード（奮闘努力すること）の徒であればジハードの門から、サウム（斎戒、いわゆる断食）の徒であればアッ＝ライヤーン門から呼ばれる。またサダカ（施し）の徒であれば、サダカの門から呼ばれる。」そこでアブー・バクル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒よ、あなたは私の両親をもってしても換え難いお方。その内どれか 1 つの門から呼ばれれば十分ではありますが、それらの門全てから呼びかけられる者はいますか？」（預言者は）言いました：「ああ。そしてあなたがそうであることを望む。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[3]）

● **天国の諸門の広さ：**

1－ウトゥバ・ブン・ガザワーン（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「天国の諸門の間の間隔は 40 年（もの行程）に相当しますが、それが押し寄せる人波でぎっしり埋め尽くされる日がやってくる。と私たちは聞きました。」（ムスリムの伝承[4]）

2－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「ある日アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）に一片の肉が持って来られました・・・－そしてこの伝承の後ろにはこうあります－"ムハンマドの魂がその御手に委ねられているお方に誓って。天国の 1 つの門から別の門までの距離は、マッカからハジャル、あるいはマッカからブスラー[5]ほどもあるのである。"」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[6]）

● **天国の門の数：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**そしてその主（のお怒りと懲罰を招くような行い）に対して身を慎んでいた者たちは、一団となって天国へと連れてゆかれる。そしてそこに到着するとその門々は開かれ、その門番たちは彼らにこう言う：「あなた方は（この日全ての悪から）平安です。あなた方は（現世において）よく行いました。永遠に天国の中に入るのです。**﴾（クルアーン 39：73）

2－サハル・ブン・サアド（彼にアッラーのご満悦あれ）によると預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国には 8 つの門がある。そこにはサウム

---

3 サヒーフ・アル＝ブハーリー（1897）、サヒーフ・ムスリム（1027）。文章はムスリムのもの。
4 サヒーフ・ムスリム（2967）。
5 訳者注：ハジャルはバハレーン地方に所在する町と言われます。またブスラーはシリア地方の 1 都市です。
6 サヒーフ・アル＝ブハーリー（4712）、サヒーフ・ムスリム（194）。文章はムスリムのもの。

（斎戒、いわゆる断食）の徒であった者たちしか入ることのない“*アッ＝ライヤーン*”と呼ばれる門がある。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[7]）

● **天国の諸門はその住人に対して開かれている：**

至高のアッラーは仰られました：﴾**これこそは 1 つのよき誉れである。そして*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）にはよき帰り所がある。そのいくつもの扉が開け放たれた、*アドゥン*の楽園である。**﴿（クルアーン 38：49 - 50）

● **現世において、その諸門が開く時：**

1－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国の諸門は月曜日と木曜日に開かれ、そしてアッラーに何ものをも並べて崇めない全てのしもべの罪は赦される。しかし相互に怨み合う 2 人の同胞は別であり、アッラーはこう仰られる：“誰か別の者がこの 2 人の間をとりもつまで、彼ら（の罪が赦されるの）をひとまず保留するのだ。”」（ムスリムの伝承[8]）

2－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「ラマダーン月が到来すると、天国の門々は開かれ、地獄の門々は閉じられる。そしてシャイターン（悪魔）たちは縛り止められるのだ。」((アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[9])

3－ウマル・ブン・アル＝ハッターブ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“*ウドゥー*[10]をまんべんなく行い、「*アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー、ワ・アンナ・ムハンマダン・アブドフ・ワ・ラスールフ*（私はアッラーの他に真に崇拝すべき存在はなく、ムハンマドはそのしもべであり使徒である、と証言します）」と言う者には誰にでも、天国の 8 つの門が開け放たれる。そして彼はその内の望む門から入ることが出来るのだ。”」（ムスリムの伝承[11]）

● **最初に天国に入る者：**

アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「私は審判の日に天国の門の前に来ると、それを開ける

---

7 サヒーフ・アル＝ブハーリー（3257）、サヒーフ・ムスリム（1152）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
8 サヒーフ・ムスリム（2565）。
9 サヒーフ・アル＝ブハーリー（3277）、サヒーフ・ムスリム（1079）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
10 訳者注：イスラームにおいて定められたある一定の形式における、心身の清浄化を意図した体の各部位の洗浄。
11 サヒーフ・ムスリム（234）。

よう命じる。すると門番は言う：“あなたは誰ですか？” 私は言う：“ムハンマドだ。” すると彼は言う：“あなたがいらっしゃるまでは、誰にも門を開けぬようにと言付けられていました。”」（ムスリムの伝承[12]）

● **最初に天国に入る民：**

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“私たち（ムスリム）は（啓典の民の内で）しんがりを務める者たちであるが、審判の日には先頭に立つのである。そして私たちは最初に天国に入る民なのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[13]）

● **最初に天国に入る一団：**

1－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“最初に天国に入る一団は、満月の夜の月のような姿である。そしてその次に入る者たちは、天に最もまばゆい煌く惑星の姿である。彼らは排尿もしなければ、唾を吐くことも鼻を垂らすこともない。彼らの櫛は金で、彼らの汗は麝香である。また彼らの香炉は香木で、その配偶者たちは白眼と黒眼のはっきりした乙女たちである。また彼らは皆、天に 60 腕尺もの高さにそびえる彼らの父祖、アーダムの姿なのである。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[14]）

2－サハル・ブン・サアドによれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「私の民から必ずや 70000 あるいは 700000 人の者が、互いに結びつきながら天国に入る。彼らは（皆一勢に天国に入るのであり、）最後の者が（天国に）入るまで最初の者が入ることはない。彼らの顔は満月の夜の月の形をしている。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[15]）

3－アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）がこう言うのを聞きました：“ムハージルーン[16]の貧しき者たちは審判の日、金持ちたちに 40 年先駆けて天国へ入るであろう。”」（ムスリムの伝承[17]）

● **天国の住民の年齢：**

ムアーズ・ブン・ジャバル（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッ

---

12 サヒーフ・ムスリム（197）。
13 サヒーフ・アル＝ブハーリー（876）、サヒーフ・ムスリム（855）。文章はムスリムのもの。
14 サヒーフ・アル＝ブハーリー（3327）、サヒーフ・ムスリム（2834）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
15 サヒーフ・アル＝ブハーリー（6543）、サヒーフ・ムスリム（5219）。文章はムスリムのもの。
16 訳者注：マッカからマディーナへ移住した初期のムスリムたち。
17 サヒーフ・ムスリム（2979）。

ラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国の住民たちは体毛も顎鬚もなく、コフル[18]を眼につけた 30 才、あるいは 33 才の状態で天国に入る。」（アフマドとアッ＝ティルミズィーの伝承[19]）

● **天国の住民の顔の描写：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾**実によく（アッラーに）従った者たちは、（天国の）安寧の中にある。（彼らは）寝台から（その恩恵に溢れた光景を）眺め見る。あなたは彼らの顔に安寧の輝きを見出すことであろう。**﴿（クルアーン 83：22‐24）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾**その日顔々は輝く。その主を眺めて。**﴿（クルアーン 75：22‐23）

3－至高のアッラーは仰られました：﴾**その日顔々は美しい。（現世で）努力したもの（の報い）に満悦して、天国の高きで。**﴿（クルアーン 88：8‐10）

4－至高のアッラーは仰られました：﴾**その日、顔々は光をほとばしらせる。歓喜し悦楽して。**﴿（クルアーン 80：38‐39）

5－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして一方その顔が白く輝く者たちは、アッラーのご慈悲のもとにあり、そこに永遠に留まる。**﴿（クルアーン 3：107）

6－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「最初に天国に入る一団は満月の夜の月の姿である。そしてそれに続く者たちは、天で最も美しく輝く煌く惑星のようである。彼らの心は 1 つであり、彼らの間には憎しみ合いや嫉妬などが存在しない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[20]）

● **天国の住民のやって来る光景：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾**そしてその主（のお怒りと懲罰を招くような行い）に対して身を慎んでいた者たちは、一団となって天国へと連れてゆかれる。そしてそこに到着するとその門々は開かれ、その門番たちは彼らにこう言う：「あなた方は（この日全ての悪から）平安です。あなた方は（現世において）よく行いました。永遠に天国の中に入るのです。**﴿（クルアーン 39：73）

---

[18] 訳者注：眼病の予防などのために睫毛周りに付けられる、黒い粉。
[19] 良好な伝承。ムスナド・アフマド（7920）、スナン・アッ＝ティルミズィー（2545）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2064）。文章はスナン・アッ＝ティルミズィーのもの。
[20] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3254）、サヒーフ・ムスリム（2834）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

2－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして天使たちは（天国の）全ての門にある彼らの下にやって来て、言う：「あなた方が耐え忍んできたものゆえに、あなた方に平安あれ。あなた方が終着した住まいの、何と素晴らしいことか。」**﴿（クルアーン 13：23‐24）

3－至高のアッラーは仰られました：﴾**最大の恐怖（審判の日の恐ろしい出来事の数々）は彼ら（天国の徒）を悲しませせることがない。天使たちは（天国の門の前で）彼らを迎え、こう言うのだ。「この日こそは、あなた方が約束されていた日なのです。」**﴿（クルアーン 21：103）

● **清算も懲罰も受けることなく天国に入ることの出来る人たち：**

1－イブン・アッバース（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“私の目の前に（来世での）様々な民（の様子）が提示された。私はその民と共にやって来る預言者や、集団を引き連れてくる預言者を目にした。また 10 人しか追従者のいない者や、5 人しか引率していない者、さらには誰一人として追従者のいない預言者も目にした。私がふと（遠くを）眺めると、大集団を発見したので、ジブリール（ガブリエル）に「彼らは私の民か？」と訊いた。

しかしジブリールは言った：「いや。しかし地平線の方を見よ。」それで見てみると、そこには大きな集団があった。ジブリールは言った：「彼らがあなたの民である。そして（今見えている）先頭の 70000 人は清算も懲罰もない者たちなのだ。」私は言った：「何故？」（ジブリールは）言った：「彼らは焼きごてで治療せず、魔除けもせず、ある物事を吉凶と考えたりせず、彼らの主のみに*タワックル*（全てを委ねること）していた者たちである。」”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[21]）

2－アブー・ウマーマ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）がこう言うのを聞きました：“崇高なる我が主は、私の民から 70000 人の者が清算も懲罰もなしに天国に入ることをお約束された。彼らの内の各 1000 人には更に 70000 人が同行し、さらには偉大で荘厳なるわが主がその両手で 3 回すくい上げられる（数だけの者もそこに含まれる）。」（アッ＝ティルミズィーとイブン・マージャの伝承[22]）

● **天国の地とそこにある建物などの様子**：

1－アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は昇天に関する伝承において、こう言いました：「・・・それからそこを出発し、最果てにある*スィドラ*の木にまで到着した。するとその上にわけの分からない様々な

---

[21] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6541）、サヒーフ・ムスリム（220）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[22] 真正な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー（2437）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（1984）、スナン・イブン・マージャ（4286）、サヒーフ・スナン・イブン・マージャ（3459）。文章はイブン・マージャのもの。

色が浮き上がり、それから私は天国に入れられた。そしてそこには真珠のドームの数々があり、その砂は麝香であった。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[23]）

2－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私たちは言いました："アッラーの使徒よ、・・・天国の建物とはどのようなものですか？"（預言者）は言いました："そのレンガは金銀からなり、漆喰は芳しい麝香である。また（天国の）小石はルビーや真珠で、砂はサフランなのだ。そこに入った者は安楽にあり、何の害も被らない。また永遠に生き、死ぬこともない。また彼らの衣服がほころびる事もなければ、若さが去り行くこともない。"」（アッ＝ティルミズィーとアッ＝ダーリミーの伝承[24]）

3－アブー・サイード（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、イブン・サイヤード（彼にアッラーのご満悦あれ）は預言者に天国の砂について尋ねました。預言者）は言いました：「（それは）純白できめ細かく、純粋な麝香である。」（ムスリムの伝承[25]）

● **天国の住民の天幕**：

1－至高のアッラーは仰られました：﴿ **天幕の中に留まっている美しい乙女たち。** ﴾（クルアーン 55：72）

2－アブドッラー・ブン・カイス（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国における信仰者の天幕は中空になった 1 つの真珠であり、その長さは 60 マイルもある。また彼には多くの配偶者がおり、そこを巡って歩くのだが、お互いに見ることはないのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[26]）

● **天国の市場：**

アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国には毎金曜日、人々が訪れる市場がある。そこでは北風が吹くが、それが彼らの顔や衣服に触れると、彼らはより美しく華やかになる。彼らは更なる美しさや華やかさをたたえつつ家人の下に戻るが、彼らを見た家人たちはこう言う："アッラーにかけて。あなた方は私たちと離れた後、美しく華やかになった。"すると彼らもこう返す："そしてあなた方も私たちと離れた後、美しく華やかになった。"」（ムスリムの伝承[27]）

---

[23] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3342）、サヒーフ・ムスリム（163）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[24] 真正な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー（2526）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2050）、スナン・アッ＝ダーリミー（2717）。文章はアッ＝ティルミズィーのもの。
[25] サヒーフ・ムスリム（2928）。
[26] サヒーフ・アル＝ブハーリー（4879）、サヒーフ・ムスリム（2838）。文章はムスリムのもの。
[27] サヒーフ・ムスリム（2833）。

● **天国の宮殿：**

偉大かつ荘厳なアッラーは心が渇望し、また目にも麗しい天国の宮殿をお創りになりました。

至高のアッラーは仰られました：﴾**アッラーは男女の信仰者に、その下を河川の流れる天国を創られた。彼らはそこに永遠に留まる。そしてアドゥンの楽園の中にある、よき住まい。そしてアッラーのご満悦こそは（これら全ての内で）最大のものである。実にこれこそはこの上ない勝利なのだ。**﴿（クルアーン 9：72）

● **天国の宮殿における人々の位階の差：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾ **そして（天国に）目をやれば、あなたはえも言われぬ安楽と巨大な王国を目にしよう。**﴿（クルアーン 76：20）

2－アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国の民はその位階においてそれぞれ異なっている。彼らはちょうど東西の地平線に消え行く煌く惑星の位置がそれぞれ異なるように、その上の階に住む者がその下の階の者を見下ろしている。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[28]）

● **天国の民の部屋々々：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾ **そして信仰し善行に励む者たちは、われら（アッラーのこと）がその下を河川の流れる楽園の部屋々々に住まいを与えよう。彼らはそこに永遠に留まる。勤行者たちの報いの何と素晴らしいことか。**﴿（クルアーン 29：58）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾**しかしその主（のお怒りと懲罰を招くような行為）から身を慎む者たちには、その下を河川が流れる部屋々々を与えよう。その上には更に部屋々々があるのだ。（これこそ）アッラーのお約束されたもの。アッラーはそのお約束を破棄されることはない。** ﴿（クルアーン 39：20）

3－アリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「“天国にはその内側から外側が、そして外側から内側がを見える部屋々々がある。” すると 1 人のベドウィンの男が立ち上がり、言いました：“アッラーの使徒よ、それは誰の者ですか？” （預言者）は言いました：“よい言葉を施し、*サウム*（斎戒、いわゆる断食）に励み、人々が就寝中に*サラー*（礼拝）する者のものだ。”」（アフマドとアッ＝ティルミズィーの伝承[29]）

---

[28] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3265)、サヒーフ・ムスリム（2831)。文章はムスリムのもの。

[29] 良好な伝承。ムスナド・アフマド（1338)、スナン・アッ＝ティルミズィー（1984)、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（1616)。

● **天国の民のしとね：**

至高のアッラーは仰られました：﴿**（彼らは）その裏地が絹の敷物の上で、ゆったり休んでいる。**﴾（クルアーン 55：54）

● **天国の民の敷物と枕：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿ **そして並んで置かれた枕。また広げられた敷物。**﴾（クルアーン 88：15－16）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**彼らは緑色の寝室と、極上の敷物の上に身を休ませている。** ﴾（クルアーン 55：76）

● **天国のソファー：**

それは幕によって覆われた寝台、あるいはクッション付きのソファーを指します。

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**実によく（アッラーに）従った者たちは、（天国の）安寧の中にある。（彼らは）寝台から（その恩恵に溢れた光景を）眺め見る。**﴾（クルアーン 83：22－23）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿ **（彼らは楽園の中で）ソファーに寄りかかっている。そこでは酷暑も酷寒もない。**﴾（クルアーン 76：13）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿**その日天国の民は（数え尽くせぬ多くの）享楽に悦楽に浸っている。彼らとその配偶者たちは、日陰の中ソファーに寄りかかっている。** ﴾（クルアーン 36：55－56）

● **天国の民の寝台：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**そしてわれら（アッラーのこと）は彼らの心から憎しみを取り除き、（天国において）寝台の上に互いに向かい合う兄弟とした。**﴾（クルアーン 15：47）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿ **（彼らは）並んだ寝台の上に寄りかかっている。そしてわれら（アッラーのこと）は彼に麗しい乙女たちをめとわせる。** ﴾（クルアーン 52：20）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿**（彼らは宝石などが）織り込まれた寝台の上に、互いに向き合った形で寄りかかっている。**﴾（クルアーン 56：15‐16）

4－至高のアッラーは仰られました：﴿ **そこには高く設えられた寝台がある。**﴾（クルアーン 88：13）

● **天国の民の食器類：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**彼ら（天国の民）のもとを永遠の少年たちが廻る。杯と水差し、（美酒が流れる川からの）盃を携えて。** ﴾（クルアーン 56：17‐18）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**（彼らのもとに）金の皿と杯が運ばれてくる。そこには（天国の民の）望み、眼を喜ばせるものがある。そしてあなた方はそこに永久に留まるのだ。**﴾（クルアーン 43：71）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿**そして（彼らのもとに）銀の食器類と杯が運ばれてくる。そして瓶は銀製で、（給仕の少年たちはそれでもって飲みたいだけ）注いでくれる。**﴾（クルアーン 76：15‐16）

4－アブドッラー・ブン・カイス（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「そこにある食器類とそこにある全てのものが銀であるところの 2 つの銀の天国。そしてそこにある食器類とそこにある全てのものが黄金であるところの 2 つの黄金の天国。そしてアドゥンの楽園において人々と彼らの主を遮るものは、その御顔に召された 1 枚の荘厳なる衣しかないのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[30]）

● **天国の民の衣服と装飾品：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**実にアッラーは信仰し善行に励む者たちを、その下を河川が流れる天国に入れられる。そしてそこにおいて彼らを黄金のブレスレットと真珠で飾られ、そこにおける彼らの衣服は絹である。** ﴾（クルアーン 22：23）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**そこにおいて彼らは黄金のブレスレットで飾られ、また緑色の薄手の絹と重厚な絹地の衣をまとい、ソファーの上に寄りかかっている。何と素晴らしい報奨と、集まり所であろうか？** ﴾（クルアーン 18：31）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿ **彼らの上には緑色の薄い絹と重厚な絹の衣が羽織らされ、また銀のブレスレットでもって飾り立てられる。そして主は、彼らに清浄な飲**

[30] サヒーフ・アル＝ブハーリー（7444）、サヒーフ・ムスリム（180）。

み物を与えられる。📖（クルアーン 76：21）

● **天国において初めに衣服を着せられる者：**

イブン・アッバース（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「・・・そして審判の日衣を着せられる最初の被造物は、アッラーの親しき者イブラーヒームである。」（アル＝ブハーリーの伝承[31]）

● **天国の民の給仕：**

1－至高のアッラーは仰られました：📖**彼ら（天国の民）のもとを永遠の少年たちが廻る。杯と水差し、（美酒が流れる川からの）盃を携えて。** 📖（クルアーン 56：17－18）

2－至高のアッラーは仰られました：📖**そして彼らの間を永遠の少年たちは行き交う。あなた方が彼らを見れば、散りばめられた真珠かと思うであろう。** 📖（クルアーン 76：19）

3－至高のアッラーは仰られました：📖**そして彼らの間を、彼らのための給仕の少年たちが行き交う。彼らはまるで（まだ手のつけられていない）秘められた真珠のようである。** 📖（クルアーン 52：24）

● **天国の民が最初に口にするもの：**

1－アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、アブドッラー・ブン・サラーム（彼にアッラーのご満悦あれ）は預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）に、天国の民が最初に口にするものについて訊ねました。それに対し（預言者は）答えました：「魚の肝臓の端である。」（アル＝ブハーリーの伝承[32]）

2－サウバーン（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私がアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）のもとで立っていると、1 人のユダヤ教徒の学僧がやって来ました・・・‐そしてこの伝承には次のような箇所があります‐・・・するとそのユダヤ教徒は言いました：“一番最初に*スィラート*（地獄の架け橋）[33]を渡ることを許されるのは誰ですか？” （預言者）は言いました：“*ムハージルーン*[34]の貧しい者たちだ。” （そのユダヤ教徒は）言いました：“天国に入る時に与えられるものは？” （預言者）は言いました：“魚の肝臓の端である。” （そのユダヤ教徒は）言いました：“その直後の彼

---

[31] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6526）。
[32] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3329）。
[33] 訳者注：詳細については「最後の日への信仰⑤‐スィラート（地獄の架け橋）の項」参照。
[34] 訳者注：マッカからマディーナへ移住した初期のムスリムたちのこと。

らの食事は何ですか？” （預言者）は言いました：“天国の端々で（草を）はんでいた天国の雄牛が、彼のために屠られる。” （そのユダヤ教徒は）言いました：“それと共に何を飲むのですか？” （預言者）は言いました：“*サルサビール*と呼ばれる泉から（飲むのだ）。”」（ムスリムの伝承[35]）

● **天国の民の食べ物：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**あなた方の伴侶と共に喜悦しつつ天国に入るのだ。（彼らのもとに）金の皿と杯が運ばれてくる。そこには（天国の民の）望み、眼を喜ばせるものがある。そしてあなた方はそこに永久に留まるのだ。**﴾（クルアーン 43：70－71）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**ムッタクーン（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）が約束された天国とは、河川がその下を流れており、そこにおいては食べ物が尽きることはなく、蔭も消え去ることがない。** ﴾（クルアーン 13：35）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿**そして（給仕の少年たちは）彼らのお好みの果実と、彼らの望みのままの鶏肉を（も携えて来る）。** ﴾（クルアーン 56：20－21）

4－至高のアッラーは仰られました：﴿ **あなた方が現世において励んだ（よき）ことゆえに、心地よく飲み食いするがよい。**﴾（クルアーン 69：24）

5－アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“審判の日、大地は一片のパンと化す。全てを制される強大なお方（アッラーのこと）は、ちょうどあなた方が旅路でパンをひねりちぎるように、天国を約束されている民に食事としてその御手でもってひねり与えられる・・・－そしてこの伝承の中に次のような箇所があります－・・・すると 1 人のユダヤ教徒の男がやって来て、言いました：「彼らが（それと共に）付け合せ（て食べ）るものを教えてやろうか？」彼は（続けて）言いました：「彼らの付け合せは“バーラーム[36]”と大魚だ。」（教友たちは）言いました：「それは何だ？」男は言いました：「雄牛と大魚のことである。それらの肝の端から 70000 人の者たちが食するのだ。」”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[37]）

6－ジャービル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私は預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）がこう言うのを聞きました：“天国の民はそこで食べ、飲むが、唾を吐いたり排便をしたり鼻を垂らしたりすることがない。”（教友たちは）言いました：

[35] サヒーフ・ムスリム（315）。
[36] 訳者注：ヘブライ語と言われます。
[37] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6520）、サヒーフ・ムスリム（2792）。文章はムスリムのもの。

“それでは食べ物はどこへ行くのですか？”　（預言者）は言いました：“（それらは）げっぷと汗になる。彼らの汗は麝香のように芳しい。また彼は呼吸をするごとく、主の崇高さを称え賛美するのだ。”」（ムスリムの伝承[38]）

●　ウトゥバ・ブン・アブド・アッ＝サラミー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私がアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）と共に座っていると、ベドウィンの男が１人やって来て、言いました：“アッラーの使徒よ、現世において最も多くの棘を有する木 - つまりアカシアのこと - が天国にもある、とあなたが言うのを聞いた。”するとアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“実にアッラーは（天国において）その全ての棘を、毛長の雄山羊の睾丸 - つまり去勢されて落ちたそれ - のようなものにされる。そしてその中には 70 色もの食べ物が入っており、各々の色はそれ以外の別の色に似ることがない。”」（アッ＝タバラーニーの伝承[39]）

●　天国の民の飲み物：

1－至高のアッラーは仰られました：﴿ **実にアッラーによく従って者たちは樟脳が混ぜられた（飲み物の）杯によって飲む。** ﴾（クルアーン 76：5）

2－至高のアッラーは仰られました：﴿**そしてそこ（天国）において、彼らは生姜の混ぜられた（飲み物の）杯から飲み物を得る。** ﴾（クルアーン 76：17）

3－至高のアッラーは仰られました：﴿ **（彼らは）封印された最上の美酒を飲まされる。その最後の風味は麝香である。そしてそれを望み求める人々を（よき行いに）競い合わせよ。そしてそれにはタスニーム[40]が混ぜられている。（それは）アッラーにより近くある（栄誉ある）者たちがそこから飲むところの泉である。** ﴾（クルアーン 83：25－28）

4－イブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“*アル＝カウサル*は天国の河川の 1 つである。その両岸は黄金で、川底は真珠とルビー、その砂は麝香よりも芳しく、水は蜜より甘美で雪より白い。”」（アッ＝ティルミズィーとイブン・マージャの伝承[41]）

●　天国の木々とその果実：

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**そして木々は（彼らを）その蔭で覆う。そしてその果実の房は（容易に手が届く高さにまで）垂れ下がっている。** ﴾（クルアーン 76：

---

[38] サヒーフ・ムスリム（2835）。
[39] 真正な伝承。アッ＝タバラーニーのアル＝カビール（7／130）、ムスナド・アッ＝シャーミーイーン（1／282）、アッ＝スィルスィラト・アッ＝サヒーハ（2734）参照。
[40] 訳者注：天国における最も貴い飲み物と言われます。
[41] 真正な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー（3361）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2677）、スナン・イブン・マージャ（4334）、サヒーフ・スナン・イブン・マージャ（3498）、文章はアッ＝ティルミズィーのもの。

14）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾ **ムッタクーン（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）は（涼しく心地よい）日陰といくつもの泉のもとにある。そして彼らが望むいかなる果実も。**﴿（クルアーン 77：41－42）

3－至高のアッラーは仰られました：﴾**そこで（彼らは）ゆったりと寄りかかり、多くの果実と飲み物を（好きなだけ）運んで来させる。**﴿（クルアーン 38：51）

4－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして彼らにはそこで、ありとあらゆる果実があるのだ。**﴿（クルアーン 47：15）

5－至高のアッラーは仰られました：﴾**ムッタクーン（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）には（真の）勝利がある。緑の園の数々と葡萄園。**﴿（クルアーン 78：31－32）

6－至高のアッラーは仰られました：﴾**そこにはありとあらゆる果実が 2 種類ずつある。**﴿（クルアーン 55：52）﴾**そこには全ての果実とあらゆるナツメヤシの木々、石榴もある。** ﴿（クルアーン 55：68）

7－至高のアッラーは仰られました：﴾**彼らは（そこであらゆる不幸や悪や害などから）平穏な状態で、あらゆる果実を運んで来させる。** ﴿（クルアーン 44：55）

8－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして右側の徒。右側の徒とは何か？（彼らは）棘のないスィドルの木々の蔭にいる。そして重なり茂るアカシア**[42]**の木々。去り行くことのない大きな日陰。いつでもどこにでも（彼らの近くを）流れ、注がれる水。そして豊富な果物。（それらは）途絶えてしまうことも禁じられることもない。** ﴿（クルアーン 56：27－33）

9－至高のアッラーは仰られました：﴾ **（彼らは）天国の高きにある。果物の房は（彼らに向かって）垂れ下がっている。（そして彼らにはこう言われる：）「あなた方が現世において励んだ（よき）ことゆえに、心地よく飲み食いするがよい。」**﴿（クルアーン 69：22－24）

10－マーリク・ブン・サアサア（彼らにアッラーのご満悦あれ）の伝える預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の昇天に関する伝承の中には、次のような記述があります：・・・預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「そして私の前

[42] 訳者注：前出のウトゥバのハディース参照のこと。

に天の最果てにある*スィドラ*の木が立ちはだかった。その実は*ハジャル*[43]の水瓶のよう（に巨大）で、その葉は巨象の耳のようである。そしてその根元には 4 本の河川 - その内 2 本は地下で、もう 2 本は地表である - が流れる。私はジブリール（ガブリエル）に訊ねた。すると彼は答えて言った：“地下の 2 本は天国のもので、地表を流れるものはナイル川とユーフラテス川である。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[44]）

11－アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国には、痩身で敏速の駿馬の騎手がその蔭を 100 年かけても踏破することの出来ない 1 本の木がある。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[45]）

12－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国にある全ての木々の根は、黄金でできている。」（アッ＝ティルミズィーの伝承[46]）

● **天国の河川**：

1－至高のアッラーは仰られました：﴾ **実に信仰し善行に励む者たちには、その下を河川の流れる楽園がある。それこそは大きな勝利なのだ。**﴿（クルアーン 85：11）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾***ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）に約束された天国とは、このようなものである：そこには淀むことのない水が流れる川と、その風味の変化することのない乳の流れる川、そして飲む者に心地よい美酒の流れる川と純粋な蜜の流れる川がある。そしてそこには彼らのためにありとあらゆる果実と、主からのお赦しがあるのだ。** ﴿（クルアーン 47：15）

3－至高のアッラーは仰られました：﴾**実に*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）は楽園と河川のもとにある。（彼らは）全能の王者の近く、（嘘や戯れ事などのない）真実の座り所にあるのだ。** ﴿（クルアーン 54：54－55）

4－アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「私が天国を歩んでいると、その両岸に中空の真珠のドームが並んでいる川に辿り着いた。私は言った：“ジブリール（ガブリエル）よ、これは何か？”（彼は）言った：“これこそ主があなたに授けられた、*アル＝カウサル*川である。そしてその香り、あるいは土は芳しい麝香であった。”」（アル＝ブハーリ

[43] 訳者注：バハレーン地方の町の名と言われます。
[44] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3207）、サヒーフ・ムスリム（162）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[45] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6553）、サヒーフ・ムスリム（2828）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[46] スナン・アッ＝ティルミズィー（2525）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2049）。サヒーフ・アル＝ジャーミゥ（5647）参照。

ーの伝承[47])

5－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました："サイハーン川とジャイハーン川、ユーフラテス川とナイル川、それら全ては天国（から）の河川である。" （ムスリムの伝承[48])

● **天国の泉**：

１－至高のアッラーは仰られました：﴾ **実にムッタクーン（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）は緑の園々といくつもの泉のもとにある。**﴿（クルアーン 15：45）

２－至高のアッラーは仰られました：﴾**実にアッラーによく従って者たちは樟脳が混ぜられた（飲み物の）杯によって飲む。（それは）アッラーのしもべたちが飲むところの泉。彼らはそれを（いつでもどこでも気の赴くままに）噴き出させる。**﴿（クルアーン 76：5－6）

３－至高のアッラーは仰られました：﴾**そしてそれにはタスニーム[49]が混ぜられている。（それは）アッラーにより近くある（栄誉ある）者たちがそこから飲むところの泉である。**﴿（クルアーン 83：27－28）

4－至高のアッラーは仰られました：﴾**そこには流れ出る 2 つの泉がある。**﴿（クルアーン 55：50）﴾**そこには吹き出る 2 つの泉がある。**﴿（クルアーン 55：66）

5－至高のアッラーは仰られました：﴾**そしてそこ（天国）において、彼らは生姜の混ぜられた（飲み物の）杯から飲み物を得る。そして*サルサビール*と名付けられた泉から。**﴿（クルアーン 76：17－18）

● **天国の女性たち：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾**アッラー（のお怒りと懲罰を招くような行い）において身を慎む者たちには、その主の御許にその下を河川の流れる楽園がある。彼らはそこに永遠に留まる。（そこには）清浄な配偶者たちがおり、アッラーのご満悦がある。アッラーはそのしもべたちの全てをご覧になられているのだ。**﴿（クルアーン 3：15）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾**実にわれら（アッラーのこと）は彼女たちをこ**

---

[47] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6581）。
[48] サヒーフ・ムスリム（2839）。
[49] 訳者注：天国における最も貴い飲み物と言われます。

しらえた。そして彼女らを（永遠の）乙女とし、愛しい同年輩のものとした。（これらは全て）右側の徒のためである。（彼らは）先人たちからの者が多く、また（イスラーム以後の）後世の者たちからも多い。 🕮（クルアーン 56：35－40）

3－至高のアッラーは仰られました：🕮**そして彼らのもとには、その眼が彼らのみに向けられた、美しい眼の乙女たちがいる。彼女たちはまるで秘められた白い卵のようである。** 🕮（クルアーン 37：48－49）

4－至高のアッラーは仰られました：🕮**そして美しい乙女たち。彼女たちは秘められた真珠のよう。（それらは）彼らが（現世で）励んでいたことに対する報奨なのである。**🕮（クルアーン 56：22－24）

5－至高のアッラーは仰られました：🕮**そこにはそれ以前に人間もジンも触れることのなかった、その視線を彼らのみに向けた乙女たちがいる。一体あなた方（人間とジン）は主のいかなる恩恵を嘘だと言うのか？彼女たちは小粒の美しい真珠とサンゴのようである。**🕮（クルアーン 55：56－57）

6－至高のアッラーは仰られました：🕮**そこには最良の美しい乙女たちがいる。一体あなた方（人間とジン）は主のいかなる恩恵を嘘だと言うのか？天幕の中に留まっている美しい乙女たち。**🕮（クルアーン 55：70－72）

7－アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「アッラーの道において昼遅く出発すること、あるいは朝早く出発することは、現世とそこにあるもの全てよりも優れている。そして天国における弓 1 本ほどの、あるいは鞭 1 本ほどの場所は、現世とそこにあるもの全てよりも優れている。そしてもし天国の女性の 1 人が地上の者たちに一視線送れば、その間を光で照らし、芳香で満たしたことであろう。そして彼女が頭にまとったベールは、現世とそこにある全てよりも優れている。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[50]）

8－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「実に天国に入る最初の一団は、満月の夜の月の姿である。そして彼らに続く一団は、天に最も明るく輝く惑星（の姿）である。彼ら 1 人 1 人には 2 人の妻たちがいる。そしてその脛の骨髄は、肉から透けて見える（ほどに白い）。天国に独身者はいないのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[51]）

● **天国の香り**：

[50] サヒーフ・アル＝ブハーリー（2796）、サヒーフ・ムスリム（1880）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[51] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3246）、サヒーフ・ムスリム（2834）。文章はムスリムのもの。

天国の香りは、天国の民の位階によって異なります。

1－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“最初に天国に入る一団は、満月の夜の月のような姿である。そしてその次に入る者たちは、天に最もまばゆい煌く惑星の姿である。彼らは排尿もしなければ、唾を吐くことも鼻を垂らすこともない。彼らの櫛は金で、彼らの汗は麝香である。また彼らの香炉は香木で、その配偶者たちは白眼と黒眼のはっきりした乙女たちである。また彼らは皆、天に 60 腕尺もの高さにそびえる彼らの父祖、アーダムの姿なのである。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[52]）

2－アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「（私たちと）条約を結んでいる民を（不当に）殺害した者は、天国の芳香を嗅ぐことはない。その芳香は 40 年もの行程からも嗅ぐことが出来るにも関わらず、である。」（アル＝ブハーリーの伝承[53]）

3－また別の伝承にはこうあります：「そしてその芳香は、70 年もの行程からも嗅ぐことが出来るにも関わらず、である。」（アッ＝ティルミズィーとイブン・マージャの伝承[54]）

● 天国の民の妻たちの唄：

1－イブン・ウマル（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「実に天国の民の妻たちはその夫たちに、誰も耳にした事がないような美声でもって唄って聞かせる。彼女たちの歌には次のような下りがある：“私たちは美しい女性たちの中でも最良のもの。栄誉高い民の妻たち。数え切れない喜びとともに待っています。”

また彼女たちの歌には次のような下りもある：“私たちは永遠に生き、死ぬことはありません。私たちは誠実で、裏切ることもありません。私たちは一所に留まり、どこかへ立ち去ってしまうこともないのです。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[55]）

● 天国の民の交合：

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**その日天国の民は（数え尽くせぬ多くの）享楽に悦楽に浸っている。彼らとその配偶者たちは、日陰の中ソファーに寄りかかっている。**﴾（クルアーン 36：55－56）

---

[52] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3327）、サヒーフ・ムスリム（2834）。文章はアル＝ブハーリーのもの。
[53] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3166）。
[54] 真正な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー（1403）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（1132）。スナン・イブン・マージャ（2687）サヒーフ・スナン・イブン・マージャ（2176）。
[55] 真正な伝承。アッ＝タバラーニーのアル＝ムゥジャム・アル＝アウサト（4917）、サヒーフ・アル＝ジャーミゥ（1561）参照。

2－ザイド・ブン・アルカム（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“天国の民の男性は飲食と欲望、性交において 100 人分の男の力を与えられる。” するとあるユダヤ教徒の男が言いました：“もし飲み食いする者であれば、催すものも催すということだ。” アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“彼らの便は、その皮膚から流れ出る汗なのであり、それによって腹部は引っ込むのである。”」（アッ＝タバラーニーとアッ＝ダーリミーの伝承[56]）

3－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「ある者が言いました：“アッラーの使徒よ、私たち男性は天国で女性に近づきますか？”（預言者）は言いました：“(そこでは）1 人の男が 1 日に 100 人の乙女と交わるのだ。”」（アッ＝タバラーニーとアブー・ヌアイムの伝承[57]）

● **天国の子供：**

アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“信仰者は天国で子供が欲しくなれば、その妊娠と出産、成長にはたったの 1 時間を要するのみである。”」（アフマドとアッ＝ティルミズィーの伝承[58]）

● **天国の民の不断の享楽：**

天国の民が天国に入れば、天使たちが彼らを迎え入れます。そして天使たちは彼らが聞いたこともないようなよき知らせとして、彼らに天国における享楽や永遠について伝え聞かせるのです。

1－至高のアッラーは仰られました：**﴾*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）に約束された天国は、その下を河川が流れ、食べ物が尽きることもなければ日陰が消え去ることもない。それこそはアッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たちの行き先であり、不信仰者たちの終着先は地獄の業火なのである。﴿**（クルアーン 13：35）

2－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「呼ぶ者がこう呼びかける：“そこ（天国）においてあなた方は常に健康であり、決して病んだりしない。また生き続けるのであり、決して

[56] 真正な伝承。アッ＝タバラーニーのアル＝ムゥジャム・アル＝アウサト（5／178）、スナン・アッ＝ダーリミー（2721）。文章はアッ＝タバラーニーのもの。サヒーフ・アル＝ジャーミゥ（1561）参照。
[57] 真正な伝承。アッ＝タバラーニーのアル＝アウサト（5263）、アブー・ヌアイムの「天国の描写」（373）。アッ＝スィルスィラト・アッ＝サヒーハ（367）参照。
[58] 真正な伝承。ムスナド・アフマド（11079）、スナン・アッ＝ティルミズィー（2563）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2077）。

死ぬことはない。また常に若くあり続けるのであり、決して年老いたりはしない。また常に安楽の状態にあり、決して欠乏することはない。そしてこれこそ偉大かつ荘厳なお方のこのお言葉（が指し示すところのもの）なのである：﴾**そして彼らはこう呼びかける：「これこそがあなた方が励んでいたところのものでもって譲り受けられた天国なのである。」**﴿”」（ムスリムの伝承[59]）

3－ジャービル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「ある男がいいました：“アッラーの使徒よ、天国の民は睡眠をとりますか？”（預言者）は言いました：“いや、睡眠は死の兄弟である。”」（アル＝バッザールの伝承[60]）

● **天国での位階：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾**見よ、われら（アッラーのこと）が（現世において）いかに彼らを互いに優越づけたか？そして来世においては（それより遥かに）大きい位階と優劣（の差）があるのだ。**﴿（クルアーン 17：21）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして（審判の日に）信仰者としてやって来る者は、実に真に（その主に）従ったのである。彼らには最高の位階があるのだ。（彼らは）その下を河川の流れる*アドゥン*（エデン）の楽園に永遠に留まることになろう。それこそは自らを（不信仰や諸々の罪から）清めた者への報いなのだ。**﴿（クルアーン 20：75－76）

3－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして（イーマーンへと）急ぐ者たち。彼らこそは安楽の地においてアッラーにより近い者たちである。（彼らは）先人たちからの者が多く、後世の者たちからは少ない。**﴿（クルアーン 56：10－14）

4－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「“アッラーとその使徒を信じ、サラー（礼拝）をし、ラマダーンのサウム（斎戒、いわゆる断食）をする者は、アッラーに天国へ入れて頂く報いがあろう。例え彼がアッラーの道において移住したとしても、あるいは生まれた土地に留まっていたとしても。”（教友たちは）言いました：“アッラーの使徒よ、人々にそれを伝えるべきではないでしょうか？”（預言者は）言いました：“天国には 100 の位階がある。アッラーはかれの道における*ムジャーヒドゥーン*（様々な形で力の限り奮闘する者たち）にそれをご準備されたのだ。各位階の間は天地の間ほどもある。ゆえにアッラーに乞うときは、*フィルダウス*を乞うのだ。それこそは最も中心にあり高位に属する天国なのである。そしてその上には最も慈悲深きお方の玉座があり、そこから天国の河川が湧き出るのだ。」

---

[59] サヒーフ・ムスリム（2837）。
[60] 真正な伝承。アル＝バッザールの「覆いを取り除くもの」（3517）。アッ＝スィルスィラト・アッ＝サヒーハ（1087）参照。

（(アル＝ブハーリーの伝承[61])

● **本来それに値しなくても、信仰者の子孫の位階が上げられること：**

至高のアッラーは仰られました：🕮**そして信仰する者たちと、信仰とともに彼らに追従するその子孫たちは、彼らを（天国において）共にしてやろう。そしてこのことによって（その父祖たちの）行い（の報い）からは、少したりとも差し引きされることはない。全ての者は自ら稼いだものによって自らを購うのだ。** 🕮（クルアーン 52：21）

● **天国の日陰：**

1－至高のアッラーは仰られました：🕮**そして信仰し善行に励む者たちは、われら（アッラーのこと）がその下を河川の流れる楽園に入れよう。彼らはそこに永遠に留まるのだ。そこには清浄な配偶者たちがいる。そしてわれらは彼らを幾重にも重なる濃い蔭に入れてやるのだ。**🕮（クルアーン 4：57）

2－至高のアッラーは仰られました：🕮**そして右側の徒。右側の徒とは何か？（彼らは）棘のないスィドルの木々の蔭にいる。そして重なり茂るアカシア[62]の木々。去り行くことのない大きな日陰。**🕮（クルアーン 56：27－30）

3－至高のアッラーは仰られました：🕮 **（彼らは楽園の中で）ソファーに寄りかかっている。そこでは酷暑も酷寒もない。そして木々は（彼らを）その蔭で覆う。そしてその果実の房は（容易に手が届く高さにまで）垂れ下がっている。**🕮（クルアーン 76：13－14）

4－至高のアッラーは仰られました：🕮**ムッタクーン（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）に約束された天国は、その下を河川が流れ、食べ物が尽きることもなければ日陰が消え去ることもない。それこそはアッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たちの行き先であり、不信仰者たちの終着先は地獄の業火なのである。** 🕮（クルアーン 13：35）

● **天国の高さと広さ：**

1－至高のアッラーは仰られました：🕮**その日顔々は美しい。（現世で）努力したもの（の報い）に満悦して、天国の高きで。そこでは戯れごとなども耳にすることもない。** 🕮（クルアーン 88：8－11）

2－至高のアッラーは仰られました：🕮**そしてあなた方の主からのお赦し（を呼ぶ諸々**

---

[61] サヒーフ・アル＝ブハーリー（7423）。
[62] 訳者注：前出のウトゥバのハディース参照のこと。

の服従行為）へと急ぐのだ。その広さは諸天と大地の広さほどもあり、*ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）のために用意されたものなのである。 📖（クルアーン 3：133）

3－至高のアッラーは仰られました：📖**そしてあなた方の主からのお赦し（を呼ぶ諸々の服従行為）へと急ぐのだ。その広さは天地の広さほどもある。（それは）アッラーとその使徒たちを信仰する者たちに用意されたものである。これこそはアッラーがお望みの者に与えられる、かれの余りある恩恵である。アッラーはこの上ないお恵みの主であられる。** 📖（クルアーン 57：21）

● **天国で最高の位階：**

アブドッラー・ブン・アムル・ブン・アル＝アース（彼らにアッラーのご満悦あれ）は、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）が次のように言うのを聞きました：「*アザーン*（礼拝への呼びかけ）を聞いたら、彼が言うように（後について）言うのだ。それから私に対しての祝福を祈願する言葉を上げよ。私に 1 回祝福を祈願する者には、アッラーが彼のためにその 10 倍のご慈悲をかけて下さる。それから私のために、アッラーに*アル＝ワスィーラ*（かれの御許での高い位階）を乞うのだ。それは天国において、アッラーのしもべの中のしもべにしか許されない位階であり、私がそれ（を与えられる者）であることを望む。私に*アル＝ワスィーラ*を乞う者には、とりなしが与えられるであろう。」（ムスリムの伝承[63]）

● **天国の民の最高の位階と最低の位階：**

アル＝ムギーラ・ブン・シュゥバ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「ムーサーはその主に訊いた：“天国の民の最低の位階とはどのようなものですか？”（アッラーは）仰られた：“天国の民が天国に入れられた後にやって来る 1 人の男がいる。そして彼にこう言われる：「天国に入れ。」すると彼は言う：「主よ、どうやって（入りますか）？人々は各々の住まいに入り、各々の取り分を取ってしまったというのに？」するとこう言われる：「あなたにもそれがあるのだ。そしてそれと同様のものがもう 1 つ、そしてもう 1 つ、更にもう 1 つ、またもう 1 つ与えられよう。」すると（男は）それが 5 回言及されたとき、「主よ、もう十分です。」と言う。するとこう言われる：「これはあなたへのもので、更にもう 10 倍のものがある。またあなたの欲するものと目を喜ばせるもの全てがある。」すると男は言う：「主よ、もう十分です。」”

（ムーサーはその主に）訊いた：“天国の民の最高の位階とはどのようなものですか？”（アッラーは）仰られた：“彼らこそは私の待ち望んだ者たち。私は彼らへの栄誉をわが手でもって植え込み、それに封印をしておいた。それゆえ（そこには）いかなる（者の）

---

[63] サヒーフ・ムスリム（384）。

眼も見たことがなく、いかなる（者の）耳も聞いたことがなく、いかなる人の心に思いも浮かばなかったような享楽が待ち受けているのだ。”」

（預言者は）言いました：「偉大かつ荘厳なアッラーの啓典の中に、それを確証するものがある：﴿**そして人は、（天国において）彼らのために隠された享楽を 1 つとして知ることがない。**﴾」（ムスリムの伝承[64]）

そして天国の民の最低の位階を説明するものとして、次の伝承の言葉があります：「そしてあなたには現世同様のものと、その 10 倍のものがある。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[65]）

● 天国の民の最大の享楽：

1－至高のアッラーは仰られました：﴿**その日顔々は輝く。その主を眺めて。**﴾（クルアーン 98：6）

2－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、人々はアッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）にこう言いました：「“アッラーの使徒よ、審判の日に私たちは主を見るのでしょうか？”（預言者）は言いました：“あなた方は、満月の夜に月を見るのに骨を折るか？”（教友たちは）言いました：“いいえ、アッラーの使徒よ。”（預言者）は言いました：“あなた方は、雲のない空に太陽を見るのに骨を折るか？”（教友たちは）言いました：“いいえ、アッラーの使徒よ。”（預言者）は言いました：“あなた方は同様にして、かれにお目にかかるであろう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[66]）

3－スハイブ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「天国の民が天国に入ると、至高のアッラーは仰られる：“他にも何か欲しいものはあるか？” すると（彼らは）言う：“あなたは私たちの顔を白く（輝か）してくれたではありませんか？私たちを天国に入れて下さり、地獄から救われたではありませんか？” するとアッラーは（自らの）覆いを上げられる。そして偉大かつ荘厳なアッラーにお目にかかることほど、彼らにとっての喜びはないのである。」（ムスリムの伝承[67]）

---

[64] サヒーフ・ムスリム（189）。
[65] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6571）、サヒーフ・ムスリム（186）。
[66] サヒーフ・アル＝ブハーリー（806）、サヒーフ・ムスリム（182）。文章はムスリムのもの。
[67] サヒーフ・ムスリム（181）。

天国の享楽

● ここでは天国の様子と、その恒久的な享楽について見て行きます。アッラーが私たちとあなた方、そしてムスリムたちをその住人として下さいますように。実にかれは寛大なお方であられます。

1－至高のアッラーはこう仰られました：**われら（アッラーのこと）のみしるしを信仰し、ムスリムとなった者たち。（彼らにはこう言われる：）「あなた方とあなた方の配偶者たちは、嬉々として天国に入るのだ。」（彼らのもとに）金の皿と杯が運ばれてくる。そこには（天国の民の）望み、眼を喜ばせるものがある。そしてあなた方はそこに永久に留まるのだ。**（クルアーン 43：69－73）

2－至高のアッラーはこう仰られました：***ムッタクーン*（アッラーのお怒りと懲罰を招くような事柄から身を慎む者たち）はその日、安全な立ち所にある。（彼らは）園々といくつもの泉の中に、薄地と厚地の絹の衣服をまといつつ互いに向かい合っている。またわれら（アッラーのこと）は彼らに、色白で大きな眼の美女たちを娶らせる。（彼らは）そこで何の悪や害も被ることなく、ありとあらゆる果実を運んで来させるのだ。（彼らは現世で味わった）1 度目の死後、そこで死を味わうことはない。そしてわれらは彼らを地獄の懲罰から守ったのである。**（クルアーン 44：51－56）

3－至高のアッラーはこう仰られました：**そして（アッラーは、）彼らが（現世において）辛抱したことに対し、楽園と絹（の衣服）をもって報いた。（彼らは楽園の中で）ソファーに寄りかかっている。そこでは酷暑も酷寒もない。そして木々は（彼らを）その蔭で覆い、その果実の房は（容易に手が届く高さにまで）垂れ下がっている。そして（彼らのもとに）銀の食器類と杯が運ばれてくる。瓶は銀製で、（給仕の少年たちはそれでもって飲みたいだけ）注いでくれる。そしてそこ（天国）において、彼らは生姜の混ぜられた（飲み物の）杯から飲み物を得る。そして*サルサビール*と名付けられた泉から（飲む）。そして彼らの間を永遠の少年たちが行き交う。あなた方が彼らを見れば、散りばめられた真珠かと思うであろう。それから（天国に）目をやれば、あなたはえも言われぬ安楽と巨大な王国を目にしよう。彼らの上には緑色の薄い絹と重厚な絹の衣が羽織らされ、また銀のブレスレットでもって飾り立てられる。そして主は、彼らに清浄な飲み物を与えられる。**（クルアーン 76：12－22）

4－至高のアッラーはこう仰られました：**そして（イーマーンへと）急ぐ者たち。彼らこそは安楽の地においてアッラーにより近い者たちである。（彼らは）先人たちからの者が多く、後世の者たちからは少ない。（彼らは宝石などが）織り込まれた寝台の上に、互いに向き合った形で寄りかかっている。彼ら（天国の民）のもとを永遠の少年たちが廻る。杯と水差し、（美酒が流れる川からの）盃を携えて。（彼らは）それによって頭痛を覚**

えることもなければ、理性を失うこともない。そして（給仕の少年たちは）彼らのお好みの果実と、彼らの望みのままの鶏肉を（も携えて来る）。そして美しい乙女たち。彼女たちは秘められた真珠のよう。（それらは）彼らが（現世で）励んでいたことに対する報奨なのである。（彼らは）そこで戯れ事や嘘を耳にすることもない。ただお互いに「平安あれ。」と挨拶し合うだけである。（クルアーン 56：10－26）

5－至高のアッラーはこう仰られました：**そして右側の徒。右側の徒とは何か？（彼らは）棘のないスィドルの木々の蔭にいる。そして重なり茂るアカシア[68]の木々。去り行くことのない大きな日陰。いつでもどこにでも（彼らの近くを）流れ、注がれる水。そして豊富な果物。（それらは）途絶えてしまうことも禁じられることもない。そして持ち上げられたしとね。実にわれら（アッラーのこと）は彼女たちをこしらえた。そして彼女らを（永遠の）乙女とし、愛しい同年輩のものとした。（これらは全て）右側の徒のためである。（彼らは）先人たちからの者が多く、また（イスラーム以後の）後世の者たちからも多い。**（クルアーン 56：35－40）

6－アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「偉大かつ荘厳なるアッラーは仰られた：“われは敬虔なしもべたちに、いかなる者の目も眼にしたことがなく、いかなる者の耳も聞いたことがなく、またいかなる者の心にも思い浮かばなかったようなものを用意しておいた。” 偉大かつ荘厳なアッラーの啓典の中に、それを確証するものがある：**そして人は、（天国において）彼らのために隠された享楽を 1 つとして知ることがない。**」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[69]）

● **天国の民の*ズィクル*（唱念）と言葉：**

1－至高のアッラーはこう仰られました：**そして（天国の民は）言う：「私たちにそのお約束を遂行され、そして私たちに天国の地を授けて下さったアッラーに全ての賞賛あれ。私たちはそこにおいて、望む所に住まいを得るのだ。（アッラーが命じられ、そしてご満悦される）行いに励んでいた者たちの報奨の何と素晴らしいことか。」**（クルアーン 39：74）

2－至高のアッラーはこう仰られました：**そこにおける彼らの祈願の言葉は「アッラーよ、あなたは（何の欠点や不完全性からも無縁な）崇高なるお方です。」であり、彼らの挨拶の言葉は「平安あれ。」である。そして最後の祈願の言葉は「万有の主アッラーに全ての賞賛あれ。」なのである。**（クルアーン 10：10）

3－至高のアッラーはこう仰られました：**（彼らは）そこで戯れ事や嘘を耳にするこ**

[68] 訳者注：前出のウトゥバのハディース参照のこと。
[69] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3244）、サヒーフ・ムスリム（2824）。文章はムスリムのもの。

ともない。ただお互いに「平安あれ。」と挨拶し合うだけである。（クルアーン 56：25－26）

● 主から天国の民へのサラーム（挨拶の言葉）：

1－至高のアッラーは仰られました：**（天国の民が）かれ（アッラーのこと）とまみえるその日、アッラーからの彼らへの報奨は「サラーム（平安あれ）」である。（アッラーは）彼らに対してよき報奨を用意されたのだ。**（クルアーン 33：44）

2－至高のアッラーは仰られました：**彼らには「サラーム（平安あれ）」という（挨拶の）言葉が、慈悲深い主よりかけられる。**（クルアーン 36：58）

● アッラーのご満悦：

アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「アッラーは天国の民にこう仰られる："天国の民よ。" すると彼らは言う："はい。何でしょうか、われらが主よ。私たちはあなたへの奉仕に尽くします。そして全ての善はあなたの御手に委ねられています。" すると（アッラーは）仰る："あなた方は満悦したか？" すると彼らは言う："主よ、満悦しないことがありましょうか？あなたは私たちに、他のいかなる者にも与えられなかったものを与えて下さったというのに。" すると（アッラーは）仰る："それよりよいものを与えてやろうか？" すると彼らは言う："主よ、これらよりよいものがありましょうか？" すると（アッラーは）仰る："あなた方に対するわが満悦である。以後、われはあなた方に対して怒ることは決してないであろう。"」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[70]）

アッラーよ、私たちと私たちの両親、私たちの家族と全ムスリムにあなたのご満悦をお授け下さい。そしてあなたのご慈悲をもって、私たちを安楽の園にお入れ下さい。

● 天国の民の列：

1－ブライダ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました："天国の民は 120 列に並んでおり、その内 80 列はこのウンマ（イスラーム共同体）から、また 40 列は残りの民から成っている。"」（アッ＝ティルミズィーとイブン・マージャの伝承[71]）

● 天国におけるムハンマド（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）の共同体の割合：

---

[70] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6549）、サヒーフ・ムスリム（2829）。文章はムスリムのもの。

[71] 真正な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー（2546）、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー（2065）スナン・イブン・マージャ（4289）、サヒーフ・スナン・イブン・マージャ（3462）。文章はアッ＝ティルミズィーのもの。

アブドッラー・ブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私たちは、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）と共にドームの下にいました。すると（預言者は）言いました：“あなた方は、あなた方が天国の民の 4 分の 1 を占めることを喜ばしく思うか？”私たちは言いました：“はい。”すると（預言者は）言いました：“あなた方は、あなた方が天国の民の 3 分の 1 を占めることを喜ばしく思うか？”私たちは言いました：“はい。”すると（預言者は）言いました：“あなた方は、あなた方が天国の民の半分を占めることを喜ばしく思うか？”私たちは言いました：“はい。”すると（預言者は）言いました：“私は、あなた方が天国の民の半分を占めることを望む。というのも天国にはムスリムしか入らないが、あなた方はシルク[72]の民の中において黒い雄牛の皮膚にある 1 本の白い、あるいは赤い雄牛の皮膚にある 1 本の黒い毛ほどの割合にも達しないからである。”」(アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[73])

● **天国の民：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾**そして信仰し、善行に励む者たちは天国の民であり、彼らはそこに永遠に留まるのだ。**﴿（クルアーン 2：72）

2－イヤード・ブン・ヒマール（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「・・・(次の）3 種のものは天国の民である：公生で慈悲深い、成功にあふれた権力者。そして慈悲深く、全ての縁者とムスリムに優しい者。そして控え目で慎み深い、一家の主・・・。」(ムスリムの伝承[74])

3－ハーリサ・ブン・ワハブ（彼にアッラーのご満悦あれ）は預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）から次のように聞きました：「“天国の民について教えてやろうか？”(教友たちは）言いました：“ぜひとも。” 預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“全ての弱く慎ましい者で、もし彼がアッラーにおいて誓えば、かれがそれを受け入れて下さるであるような者たちである・・・”」(アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[75])

● **天国の民の大多数：**

ウマラーン・ブン・フサイン（彼にアッラーのご満悦あれ）によると、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「私が天国の様子を見ると、その民の大多数は貧者であった。また地獄を見てみると、その大多数は女性であった。」((アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[76])

---

[72] 訳者注：詳しくは「5. シルクの種類」の章を参照のこと。
[73] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6528）、サヒーフ・ムスリム（221）。文章はムスリムのもの。
[74] サヒーフ・ムスリム（2865）。
[75] サヒーフ・アル＝ブハーリー（4918）、サヒーフ・ムスリム（2853）。文章はムスリムのもの。
[76] サヒーフ・アル＝ブハーリー（3241）、サヒーフ・ムスリム（2737）。文章はムスリムのもの。

● **最後に天国に入る者：**

アブドッラー・ブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：“最後に地獄から救い出されて天国に入る最後の者は、（地獄から）這いつくばいながらやって来る。彼の主は仰る：「天国に入るのだ。」すると彼は言う：「主よ、天国は既に（その民で）溢れ返っています。」そして彼の主は同じ言葉を 3 度繰り返され、男はその都度「主よ、天国は既に（その民で）溢れ返っています。」と答える。そして（最後にアッラーは）仰る：「あなたには現世同様のもの、及びその 10 倍のものを与えてつかわそう。」”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[77]）

[77] サヒーフ・アル＝ブハーリー（7511）、サヒーフ・ムスリム（186）。文章はアル＝ブハーリーのもの。